

死を免れた人々

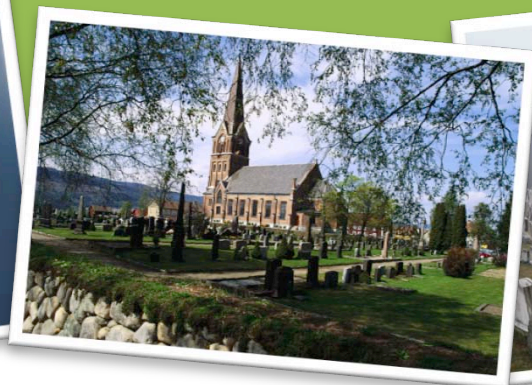
死を免れることができますか。本当に死を免れた人がいますか。死を免れることが可能であれば、知りたくありませんか。



イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことはありません。」～ヨハネ 11:25、26



神は、私たちが永遠の刑罰から救い出されるための備えをして下さいました。



「主イエス様のお招きに従って行った」

ある牧師が、カナダのオンタリオ州、ハミルトンのとある病院をいつものように訪問していた。そして、一人の教会員が寝ているそばにやってきた。その患者は年配の男性で、すでにこんすい状態におちいってから数日が経っていた。それで、その牧師は自分が訪問し

ても、来たことすらわからないだろうから、あまり意味がないのではないかと思った。しかし、牧師が病室に入ると、その患者は突然意識が戻り、牧師をじっと見て言った。「牧師先生、私はちょうど天国に行ってきたところなんです。」その患者の言葉に驚き、

牧師は控えめに、注意深く尋ねた。「どうして天国に行ったとわかるんですか」と。するとその男性は、「イエス様を目の当たりにしたのだから、天国に行ったことがわかるんです。」牧師は、疑念を持ちつつ、もう一度尋ねた。「どうして、その方がイエス様だとわか

「ほんの少しだけ見ることが出来る…」

ったんですか。」それに対して、その患者は、「両手に傷跡があったんです。」と答えた。

その患者との会話に興味を膨らませ、「では、イエス様は、なんとおっしゃったんですか。」と牧師は尋ねた。

その人は、「『私があなたの罪の代価を全てを支払ったのだから、私のもとにおいで。』とイエス様はおっしゃった。」と言った。そう言い終わると、患者は息を引き取り、主イエス様のお招きに従って行った。



神様は、私たちが天国を垣間見ることが許されることがある。いわば、天国の窓を開けて、主が私たちのために備えてくださっているものをほんの少しだけ見ることが出来るように。

天国について

「それで私たちは、真実な方のうちに、すなわち御子イエス・キリストのうちにいるのです。この方こそ、まことの神、永遠のいのちです」



キリスト様は天国について弟子達と信者達に言われました。

「あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言っておいたでしょう。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。わたしの行く道はあなたがたも知っています。」トマスはイエスに言った。「主よ。どこへいらっしゃるのか、私たちにはわかりません、どうして、その

道が私たちにわかりましょう。」イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません」ヨハネ 14:1-6

初めに、神が天と地を創造した。

「すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。この方はもとから世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方(イエス・キリスト)を知らなかった」ヨハネ 1:3, 10

「そういうわけで、ちょうどひとりの人によって罪が世界にはいり。罪によって死がはいり、こうして死が全人類に広がっ

たのと同様に、..それというのも全人類が罪を犯したからです」ロマ書 5:12

「その場合、この世の神が不信者の思いをくらませて、神のかたちである



キリストの栄光にかかわる福音の光を輝かせないようにしているのです。」コリント第二の手紙 4:4

「...全世界は悪い者の支配下にあることを知っています。しかし、神の御子(イエス・キリスト)が来て、真実な方を知る理解力を私たちに与えてくださったことを知っています。

それで私たちは、真実な方のうちに、すなわち御子イエス・キリストのうちにいるのです。この方こそ、まことの神、永遠のいのちです」

ヨハネ第一の手紙 5:19、20

「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず」

ロマ人の手紙 3:23

「そういうわけで、ちょうどひとりの人(アダム)によって罪が世界にはいり、罪によって死がはいり、こうして死が全人類に広がったのと同様に、..それというのも全人類が罪を犯したからです」

ロマ人の手紙 5:12

「罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです」

ロマ人の手紙 6:23

「こうして、この人たちは永遠の刑罰にはいり、正しい人たちは永遠のいのちにはいるのです。」

マタイ 25:46

「それから、王はまた、その左にいる者たちに言います。『のろわれた者ども。わたしから離れて、悪魔とその使いたちのために用意された永遠の火にはいれ』」

マタイ 25:41

「ある金持ちがいた。いつも紫の衣や細布を着て、毎日ぜいたくに遊び暮らしていた。ところが、その門前にラザロという全身おできの貧しい人が寝ていて、金持ちの食卓から落ちる物で腹を満たしたいと思っていた。犬もやって来ては、彼のおできをなめていた。さて、この貧乏人は死んで、御使いたちによってアブラハムのふところに連れて行かれた。金持ちも死んで葬られた。その金持ちは、ハデスで苦しみながら目を上げると、アブラハムが、はるかかなたに見えた。しかも、そのふところにラザロが見えた。彼は叫んで言った。『父アブラハムさま。私をあわれんでください。ラザロが指先を水に浸して私の舌を冷やすように、ラザロをよこしてください。私はこの炎の中で、苦しくてたまりません。』アブラハムは言った。『子よ。思い出してみなさい。おまえは生きている間、良い物を受けラザロは生きている間、悪い物を受けていました。しかし、今ここで彼は慰められ、おまえは苦しみをだえているのです。そればかりでなく、私たちとおまえたちの間には、大きな淵があ

ります。ここからそちらへ渡ろうとしても、渡れないし、そこからこちらへ越えて来ることもできないのです。』彼は言った。『父よ。ではお願いです。ラザロを私の父の家に送ってください。私には兄弟が五人ありますが、彼らまでこんな苦しみのある場所に来ることのないように、よく言い聞かせてください。』しかしアブラハムは言った。『彼らには、モーセと預言者がいます。その言うことを聞くべきです。』彼は言った。『いいえ、父アブラハム。もし、だれかが死んだ者の中から彼らのところに行ったら、彼らは悔い改めるに違いありません。』アブラハムは彼に言った。『もしモーセと預言者との教えに耳を傾けないのなら、たとえだれかが死人の中から生き返っても、彼らは聞き入れはしない。』」

ルカ 16:19--31





悪魔とすべての悪霊は、永遠に苦しみが続く場所に行かなければならないことがわかります。

「こうして彼らは、ガリラヤの向こう側のゲラサ人の地方に着いた。イエスが陸に上がられると、この町の者で悪霊につかれている男がイエスに出会った。彼は、長い間着物も着けず、家には住まないで、墓場に住んでいた。彼はイエスを見ると、叫び声をあげ、御前にひれ伏して大声で言った。「いと高き神の子、イエスさま。いったい私に何をしようというのです。お願いします。どうか私を苦しめないでください。」それは、イエスが、汚れた霊に、この人から出て行け、と命じられたからである。汚れた霊が何回となくこの人を捕えたので、彼は鎖や足かせでつながれて看視されていたが、それでもそれらを断ち切っては悪霊によって荒野に追いやられていたのである。イエスが、「何という名か。」とお尋ねになると、「レギオンです。」と答えた。悪霊が大ぜい彼にはいていたからである。悪霊どもはイエスに、底知れぬ所に行け、とはお命じになりませんように



と願った。」 ルカ 8:26--31

「そして、ふたりを外に連れ出して「先生がた。救われるためには、何をしなければなりませんか。」と言った。ふたりは、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」と言った。

使徒の働き 16:30、31

「その翌日、ヨハネは自分のほうにイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」 ヨハネ 1:29

「それで多くの人が集まったため、戸口のところまですきまもないほどになった。この人たちに、イエスはみことばを話しておられた。そのとき、ひとりの中風の人が四人の人にかつがれて、みもとに連れて来られた。群衆のためにイエスに「近づくことができなかつたので、その人々はイエスのおられるあたりの屋根をはがし、穴をあけて、中風の人を寝かせたままその床をつり降ろした。



イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に、「子よ。あなたの罪は赦されました。」と言われた。ところが、その場に律法学者が数人すわっていて、心の中で理屈を言った「この人は、なぜ、あんなことを言うのか。神をけがしているのだ。神おひとりのほか、だれが罪を赦すことができよう。」彼らが心の中でこのように理屈を言っているのを、イエスはすぐにご自分の霊で見抜いて、こう言われた。「なぜ、あなたがたは心の中でそんな理屈を言っているのか。中風の人に、『あなたの罪は赦された。』と言うのと、『起きて、寝床をたたんで歩け。』と言うのと、どちらがやさしいか。人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたに知らせるために。」こう言ってから、中風の人に、「あなたに言う。起きなさい。寝床をたたんで、家に帰りなさい。」と言われた。すると彼は起き上がり、すぐに床を取り上げて、みなの方を見ている前を出て行った。それでみなの方がすっかり驚いて、「こういうことは、かつて見たことがない。」と言って

神をあがめた。イエスはまた湖のほとりに出て行かれた。すると群衆がみな、みもとにやって来たので、彼らに教えられた」 マルコ 2:2-13

「もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます」

ヨハネ第一の手紙 1:9

「キリストが現われたのは罪を取り除くためであったことを、あなたがたは知っています。キリストには何の罪もありません。」 1ヨハネ 3:5

「こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。肉によって無力になったため、律法にはできなくなっていることを、神はしてくださいました。神はご自分の御子を、罪のために、罪深い肉と同じような形でお遣わしになり、肉において罪を処罰されたのです。」 ロマ 8:1-3



イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」ヨハネ 14:6

「この方以外には、だれによっても救いはありません。世界中でこの御名のほかには、私たちが救われるべき名としては、どのような名も、人間に与えられていないからです。」使徒の働き 4:12

「イエスが町の門に近づかれると、やもめとなった母親のひとり息子が、死んでかつぎ出されたところであった。町の人たちが大ぜいその母親につき添っていた。主はその母親を見てかわいそうに思い、『泣かなくてもよい。』と言われた。そして近寄って棺に手をかけられると、かついでいた人たちが立ち止まったので、『青年よ。あなたに言う、起きなさい。』と言われた。すると、その死人が起き上がって、ものを言い始めたので、イエスは彼を母親に返された。」ルカ7:12--15

イエスはそう言われると、大声で叫ばれた。

「ラザロよ。出て来なさい。」すると、死んでいた人が、出て来た。「それで、イエスがおいでになってみると、ラザロは墓の中に入れて四日もたっていた。言われた「彼をどこに置きましたか。」彼らはイエスに言った。「主よ。来てごらんください。」そこでイエスは、またも心のうちにいきどおりを覚えながら、墓に来られた。墓はほら穴であって、石がそこに立てかけてあった。イエスは言われた。「その石を取りのけなさい。」死んだ人の姉妹マルタは言った。「主よ。もうくさくなっておりましょう。四日になりますから。」そして、イエスはそう言われると、大声で叫ばれた。「ラザロよ。出て来なさい。」すると、死んでいた人が、手と足を長い布でまかれたままで出て来た。彼の顔はぬのぎれで包まれていた。イエスは彼らに言われた。「ほどういてやって、帰らせなさい。」そこで、マリヤのところに来ていて、イエスがなさったことを見た多くのユダヤ人が、イエスを信じた。ヨハネ11:17、34、38、39、43-45

「なぜなら、もしあなた

の口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。聖書はこう言っています。「彼に信頼する者は、失望させられることがない。」ユダヤ人とギリシヤ人との区別はありません。同じ主が、すべての人の主であり、主を呼び求めるすべての人に対して恵み深くあらわれるからです。「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」のです。」ロマ人の手紙 10:9-13

「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行ないによるものではありません。だれも誇ることをのさないためです」

エペソ人への手紙 2:8、9

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではな



く、御子によって世が救われるためである。御子を信じる者はさばかれない。信じない者は神のひとり子の御名を信じなかったもので、すでにさばかれている」 ヨハネ 3:16-18

「父なる神様は言われた『わたしは、アブラハムの神、イサクのヤコブの神である』とあります。神は死んだ者の神ではありません。生きている者の神です。」 マタイ 22:32

イエスは言われた、私は「生きている者である。わたしは死んだが、見よ、いつまでも生きている。また、死とハデスとのかぎを持っている」

黙示録 1:1

「いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた」 黙示録 20:15

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみものに来ることはありません」 ヨハネ 14:6

イエスはまた彼らに語って言われた。「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみ

の中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」 ヨハネ8:12

もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」のです ロマ書 10:9、10、13

あなたが心から祈ると神様はあなたの祈りを聞いてくださいます。『天の父なる神さま。こんな罪人の私をあわれんでください。私のすべての罪を赦して、私のたましいを救って下さい。罪からきよめて下さい、イエスキリストの御名によってお祈り致します。』

「あなたがたに言いますが、それと同じように、ひとりの罪人が悔い改めると喜びが天にあるのです。」「あなたがたに言いますが、それと同じように、ひとりの罪人が悔い改めるなら、神の御使いたちに喜びがわき起るのです。」 ルカ 15:7、10



「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」

マタイ 11:28

イエスは言われた「見よ。わたしは、戸(人の心の戸口)の外に立ってたたく。

だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしは、彼の(心)ところにはいつて…」 黙示録 3:20

「この方(キリスト・イエス)はご自分のくにに來られたのに、ご自分の民は受け入れなかった。しかし、この方(キリスト・イエス)を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。」 ヨハネ 1:11、12

「しかし、すべて汚れた者や、憎むべきことと偽りとを行なう者は、決して都(天国)には入れない。小羊のいのちの書に名が書いてある者だけが、はいることができる。」 黙示録 21:27

あなたの心を開いて、救い主イエス・キリストを招き入れて下さい。聖書にある約束はこれです。

「もし、私たちが自分の罪を(キリスト・イエスの御名によって)言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。」 ヨハネ第1の手紙 1:9

次のようにお願ひしてください。「神さま。罪人の私をあわれんで救ってください、すべての罪から清めて下さい。」

「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」のです。

この文書を読み終わって、心から救い主イエス・キリストを信じ受け入れましたら、ぜひ以下の連絡先にご連絡ください。新約聖書を差し上げます。また、私たちの教会にいらしてください。心よりお待ちしております。

山県恵みバプテスト教会
岐阜県山県市大桑2855-1





山県恵みバプテスト（キリスト）教会

集会のご案内

日曜日 Sunday

第一の集会 午前 11:00 - 12:00 日本語
第二の集会 午後 6:00 - 7:00 日本語と英語

水曜日 Wednesday

聖書の話と祈祷会 6:30 - 7:30 日本語
駐車場がありますがすべて無料です。

〒501-2101 岐阜県山県市大桑2855-1 番地
電話 0581-27-0304

E-mail pmjapan@aol.com

<http://www.patmelton.japanforchrist.com/>

山県恵みバプテスト（キリスト）教会

